



MAP ⑦安居地区 MAP ⑧三里浜 MAP ⑨日野川 MAP ⑩坂井平野 (水田地帯) MAP ⑪鷹巣地区北部 (池・山ぎわ水田) MAP ⑫高須山山麓 (棚田・周辺の森林) MAP ⑬上郷地区 (山際の水田・周辺の森林) MAP ⑭未更毛川上流 (山ぎわの水田・ため池)



自然の概要
水田やその脇を流れる水路には、初夏にゲンジボタルやヘイケボタル、ハッチョウトンボが舞っています。この地区では、ホタルやミスアオイをビオトープで保全する活動が進められています。

守り育てたい生き物
ハッチョウトンボ
日当たりのよい湧水のある湿地や休耕田に生息します。

アクセス
福井市中心部よりさくら通りを西へ車で20分。安居中学校付近。



自然の概要
九頭竜川の砂州として発達した砂丘で、南北10km、東西1.5kmに広がります。ハマナス、ハマエンドウなどの海岸性の植物の群落もみられるため、海水浴だけでなく植物観察に訪れる人も沢山います。

守り育てたい生き物
ハマナス
主に海岸の砂地に自生し、5〜8月に開花します。

アクセス
福井市中心部より国道416号を越前海岸方面へ車で35分。国道305号との交差点付近。



自然の概要
海老助町から防災ステーションのある土橋町にかけて、自転車道の脇にソメイヨシノ、コマツオトメ、シダレザクラなど約260本が並んでいます。春にはサクラを眺めながらのサイクリングに最適です。

守り育てたい生き物
ソメイヨシノ
現代の観賞用のサクラの代表種です。

アクセス
福井市中心部より国道416号を西へ車で20分。日野川浄化センター付近。



自然の概要
九頭竜川河口の周辺に広がる水田には、開けた湿地を好む鳥類が飛来し、冬期にはマガンやオオヒシクイの重要な採餌地になっています。また、シギやチドリ類の休息地にもなっています。

守り育てたい生き物
オオヒシクイ
主に開けた水田地帯・河川・池沼を好みます。

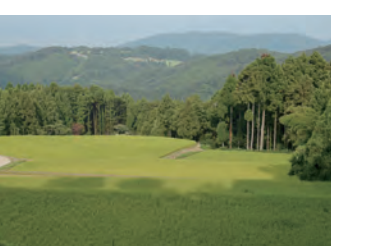
アクセス
福井市中心部より国道416号を越前海岸方面へ車で35分。国道305号との交差点を北へ5分。



自然の概要
内陸には傾斜のゆるやかな谷がいくつもあり、谷沿いに水田やため池が存在しています。ため池にはジュンサイなどの水生植物が自生し、山際の傾斜にある湧水湿地にはモウセンゴケが自生しています。

守り育てたい生き物
モウセンゴケ
日当たりの良い酸性湿地に自生する食虫植物の一種です。

アクセス
福井市中心部より国道416号を越前海岸方面へ車で35分。国道305号との交差点を南へ5分。



自然の概要
山の急斜面に存在する棚田と集落で、集落周辺には畑や水田が開かれ、これを取り囲むように背の高い林が存在しています。この里地環境を利用してサシバ、アオバズクなどが生息しています。

守り育てたい生き物
アオバズク
大径木林に夏鳥として渡来し、樹洞を利用して繁殖します。

アクセス
福井市中心部より国道416号線、県道251号線を経由して、県道3号線を北へ車で40分。



自然の概要
山中に存在する水田と集落で、集落周辺には畑や水田が開かれ、これを取り囲むように背の高い林が存在しています。この良好な里地環境を利用してサシバ、サンコチョウ、ムササビなどが生息しています。

守り育てたい生き物
ムササビ
樹洞のある大径木林に生息します。

アクセス
福井市中心部より国道416号線、県道251号線を経由して、県道3号線を南へ車で40分。



自然の概要
山際の傾斜に湧水があり、所々で水田や水路に流れ込んで湿地を形成しています。水田にはメダカが生息し、畦や土手の草地にはリンドウが自生しています。

守り育てたい生き物
リンドウ
山野の日当たりの良い草地に自生します。

アクセス
福井市中心部よりさくら通りを西へ車で25分。